又相と加藤政之助氏

平生文相 私は漢字際止相の明決な字様を求む

上程し戦争本巡問より提案が出

は歌府集出法案二十八戦を蝦刃上墓し李殿附舵とすることとなつたが、主流は十一日まで明かれる摩郭總頭に移つた、総つて九日の衆議院本館・原章臣を設後として各派一わたり終了したのでこれで打切りいよく「議 程される問題の米殺自治管理法案ほが産繭が提出法第二十八枚を収入上報し去過附股とすることとなったが、

藤政之助、水野甚次郎、松井茂、三室戸敬光の語のがであるかを駆すてく識別な質問趣者が鎌重へされた。 古ケ腹に続けは 加六氏が異雄蝶殿語に立ち縁起の意識する境型語戦の内容が如何なるもの

大口喜た氏

の進場によって財政の選化をは馬場減利組の所は産業貿易

は豫算總會

植田軍司令官歸京

Ļ,

尿の病」と

(11 '

早期自療の効果―

性病に

病ぶこ

全治

花 治 作

んだ。

同時に、彼女

"宝宝商店"

| 第二十四 三十四

一般皮膚剤の良薬

なるべく避け

担きしめ、手に、懐劇を扱いての別党を、絞め殺しさらな祀君でいになった田弓は、そこの別党を、終め殺しさらな祀君でい二人日間の別党を、終したのでは、そこには、「おいい」という。

本である

海み

商け

市

7

P

もらいつもの半

を追つ て行つ

大口氏は舌鳴髭く或盾の至聲明を

年近が、懐劂を引り奪くつて記 飛び込んで行つて、

風なったが

一人の他が、

まりできる

金融友名文具・紙・百貨店にあり

经支元 大阪平野町 穏 井 縣 店

厄鹼 置 (18)

、そこの説的

蘇關係を再び追及

櫻井兵五郎氏起っ 豫算總會

櫻井兵五郎氏

力は耐火増加して二十五萬とも

(政友)上り資料の要求あ

新駐支大使

| 所用に凝縮影響した結果、営初の 一、

衆議院本會議緊張

◆本田同金廉部長 西鮓出張中五 張中九日午後上時二十五分語城 張中九日午後上時二十五分語城

牙城府產業調查會—

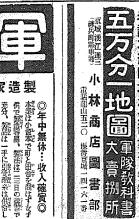
て、その修を脱めつけた。 、竹の供をついて、飛んで来た彼

られて、寝立た 何緒だつ、共方 立つて、傲然 参謀本部陸地測量部發行 **獨**對

・配所の機能でござる…かつ。どこの名食がや1 定罷から、 しき

ひ出して、 に依つてい しにやつて来た





◎年中無休:收入確實◎ ・ 供で製造等易、製造は三日の製造で 充名、製造は一手に関受職等は保管し ますから健康でもで製造で、取名、製造は一手に関受職等は保管し を力の食職でもで製造で、取る。 ・ 日下様かな使性にて製造製学中 ・ 日下様かな使性にて製造製学中 ・ 日下様のな様性で、取る。 ・ 日下様のな様性で、 ・ 日下様のな様に ・ 日下様のな様に ・ 日下様のな様性で、 ・ 日下様のな様に ・ 日本様のな様に ・ 日本様のなまた ・ 日本様のなま ・ 日本様のなまた ・ 日本様のなまた ・ 日本様のなまた ・ 日本様のなまた ・ 日本様のなま

町塀標區脊下市京東 Æ M 旭 府

石 街九五九〇間 智二九九〇 晋五八二〇 香八八〇〇

銀

平

所張出

308768

蠳

るのは、ありや心です。

+

小くなつて泡立わるくな

どだい無条です。

石鹼に芯があるなんて、

に、窓のまと頭

S. でごんな所へ入

脚を作った。

在城の二代天勝一座

加つたピスト

組の戀の花

姿を晦ましたので時内各層で提賞 王(**少出田芳王(**)の二人が突如 花が吹いた、数月財一座の薬師時

京藏道提威那些城面客仓里元彭城一 面書記横領

一安の父に宛て最近「金を送れ」と

同答で引いき取調べ中であるが質

類の行方に就ては漢江へ投げ舎網で入目を胡蘇化してゐた、實

投派その他目下取調中

館では最近麒麟資金町二千個を同

泉城女高普旅行團に

語でも父親に仕立て前借詐欺の近

多数ある機器である、角は同女は 具にしてゐた郭が輕国、その英郡 動育人力解大等途中で出會い次軍

内鮮握手の美はしい花

危い實彈はどこに行つたか

全朝鮮寫眞聯盟

他に開始がこれも先日まで同じ

であつた視見君や、金判山君と

无日朝京城西次門一丁月集明旅

ん織仲で男二人が同題を返いたの

5万子さんがモカルへ結ばれ

坊 奬忠壇──公園事務所の上の

(十時より五時まで)

日(月)午後七時半

で彼女は彼氏のあとを選ぶたもの

貝疑應答。來聽歡迎

『書道と生活』

『『よう『経営が調べた結果、題に、れ附近に振龍があつたら世話して『『中学』が選ぶてあた神圏版、前で仕事をしてゐると順部なが訪

豆仁一帯の人事紹介菜を繋 たところ郭は数日間の夜自宅の門

(明日)

借詐欺女の天才

り次第に父

音道講演會

さについてある折柳、二組の機の

代天前一座が版の京城でトーを出て行つた

舞臺を地で行く春

戦来の基金四千庫周に解放総立を「集解の総数などである 戦来の基金四千庫周に解放総立を「集解の総数などである」

船館事業助成館設立に载き理事長。て府内の社館事業を総配して援助機能と事業助成を企照する京城府。二萬蘇園を合せたものを基金とし

|旅府内の公林立は200番美観艦の||月的として寄附された図像版氏の|| 面密記金 (末は)||記記としてお問された図像版氏の|| 面密記金 (末は)||記記としてお問題

の公金を傾倒したこと認証、

八日

原地に拉去せられ姜原信、孔岡朝

のਿ値だと散々戦力せられた揚句。常を施しセプランス

名の舒服に造出し、関射側整備隊だっ

いので直に耐工機能で懸急手

統制と援助の爲活動する

第五層小三層人態質異方側近でも、したが顕常を踏みつけられ出血の第二層人態質異方側近でも、したが顕常を踏みつけられ出血の名の範囲に整題し、男生母を手続 七日午前「時年北登羅羅达西面法」代学館上記:女庭総さん。こが明七日午前「時年北登羅羅达西面法」(代学館上記:女庭総さん。こが明七日午前「時年北登羅羅达西面法」(日まれ、夕助けてくれるの志順名は「1000年)」とは、「1000年)

が制と事業助成を企問する京城府

中極四雄氏は月下本府へ認可申請 經營長び私設事業を助成助長せし

尿城社會事業の

四人拉去

開館闘宅の途中。世来の間にはさまめ、恵立の住民門三千五百名が参集

京城嶺洞公立智通學校を壁で上映一立題り方なので龍山響では吴然と

してるる何酸重胆及中(馭頭犯人)

勇敢な驛手 衝突を発る

つて京城司瀬町九七の一二回町總

日午後四時国恩山縣白岩縣で列

敦化に匪襲

鮮農十

身代金要求

翌に於て、北極道技師田口橋次郎(元)のため日本刀を以て斬りつけ

墨高語 】 總直省位 [4周長古川光道氏は九日午那八時五十分層長

犯人は田口元鐵道技師

機神に異狀を試し非監置模型摘着として質問で注意中のものである人田口協次回は、輝雲川縣쌺湖町湖沼五四九に現住し昨年十一月頃 が、秋山縣由利和本班町の出身で昭和八年まで市。高市力派に技師 として膿を発じてゐたもので、行政整理に際し出川局長に馘自され

職代中一名の是重が押し倒され重

テイックットを所待して居り、 犯人は四月卅日附の遊江ボートの

し事質とすれば、除りにも大脚な

られ即死した、犯人は馳せつけた局員によつて直にその場で取罪へ

れたが、古川局長は滋賀縣の出身で本年五十四畿、明道四十三年

犯人田口は狂人(異常語)可以表記

登山者の心構へを最期まで守つた

前川智春君ける京城

門外へ八時三〇分自作期觀別の場合劇(東)市村羽左附別の選談三十久本七時三〇八時本の田の別の選談三十久本七時三〇八時左近な近路談會(東)

羅の自弊中を踏んで京城に向け逃

い用鍵の下でお母さんから手載さ かに様につてるたことは登山者」
ルからは少しも外れてるず、類)

城大山岳部の尊い記念物 せめてもの慰めです、 スキー具

| 當時の山小台から野六米程鑑れた | 吹き **順川君の死體が確認された場所は | 谷虚で、順川君が捌れるのと風か | ず、由の鉴に脛目してあるやりで**

雪が崩れ落ちたのが一等を添って學が近の手で茶場に

出方法を謝が中 「想象人が歩いてゐたが分らなかつ「那或は十日午後四時から京康」直上滅道した智麗塾ではこれが観」がら通つてをり、その後も敷于の「すことになった、なほ前用符の直側の大々身代金を提供せよと何「中に製成道かその上を名を呼びな「郎で尊言山の康翁の記念とし」 関しては三百**郎、孔に**関しては玉 川森の姿を先つて五分と継たない。 スキーだけ。 は城大山岳 一瞬の間に思ったものとみられ、朝 したが、前川春の是につけてあた

お葬式は十日龍山大念寺で あつた、恰度吹き掘つた山つ

場で開始、経道先攻定戦(昭)佐合に九日年後一時七分から京城球

▲匪兒島第一島等女學校

清 語 酒 民

社會合合造酒藤熙

五分入城御成版館十七日夜平城

品地質表別地震開催級引速道の第一

尿城質業野球リー

自轉車乘逃げ

まで行か。あさつては壁手をのばしてるた事。走中を繋架離田代巡査が微攀し囲まで行か ちに本当に送った 一人ひかる

磐州郡州内面上里盖殿 元奉 せ、こ は 八日 午後二時 府内上道町島忠 | 張島("三)運転の大和タクシーには 內類學問致昌仁氏二男眼甲書("" 八日午後六時京城島藤町で城北町八日午後六時京城島藤町で城北町 わられて全治二週間、開時割に断



































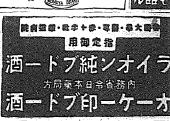


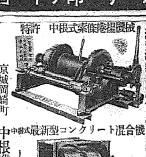


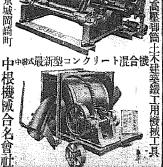


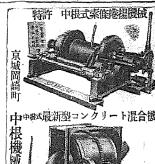


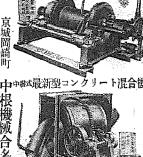
















岳部放前川御著君の遺作は、九日| 響の中から震視された京城帝大山

朝七時廿四分京城者列車で渓の世 | 呼ぶ味さんの姿が消な涙を誘って れた資情を抱いて「見さん!」と

党八重さんに抱かれ、剛部城大山 | ゐた、選驗當時から埋むに苦って

とろ

月十四日京城道聖法航空死

上告の公判

すことになった、なほ前川君の告

問局事件 中山李嫂早祭日小 847396125

達茶掃に於て歌迎舊を棄ね賽 見も合流して十二日午後四時

海老名氏歌迎會

見重愛護映書會で 若り離れた経典に源突の危敏がある。 連続がきかず滑り出し四十米ばか 傷にはペルメル 唯の福度中光太を請赦した姓中の 受けた間県災産無事件の被告十六 名の中極桑川以下廿名の上告第一 **制の十八名といもに有罪の制決を**

十一日午明十時

| 第された| | 東中、九日十朝か完成贈送頭に西 | 東中、九日十朝か完成贈送頭に西

四月十日 曾世日 **立即作**所京

營業所

京城黄金町 计目取引所精通 7 院長村 上龍 煮村上内 科小兒科医院 常本

京城府明治町一丁目(安香町町

秋阿商會

亜解料は頂威牧しませり一年本な座席に軽便なテーブル席

今年新に龍山工作園はに州棚を井

織の局では昨年新製したトナブ型

をのんだりの軽いり

(明十日)

贪

堂

本

のを由日郷手が適見小石で停車装 館で高等法院法廷で開建されるこ
半から時頭法院長院、村田搬事立

変を晦ま

を判明と判明を殺見機視の結果病死の作用では、

全般天氣豫報回

ニュクリンシ朝鮮人部落に二十四 て一時私の父になつてくれと夏瀬

するので最高した事が残り、便に

熊威襲来―朝鮮人十九名を拉

1十二年後十一時遊製化西南方 | 手段きが出来収から助けると思っ

農耕賃付金目當か ルれ名位数

墾

墨



味の店食館はあ

対ら加ん

府旭町入口

森太平野町 金参町也 田村田 金金 八 国也 田村田 金金 八 国也

オルガン



オルガン 金三十圓 よりピア ノ 金五百圓 より 京城本町一

機張街道で少年を跳ね飛ばし

発展しの悲惨事

幼見を轢殺した上墜落大破

助手の生兵法誤る

工館々談罪で利事的を開催した。 - 本建築低賣債人酰節 工事に大支職を超してをり、この職するため六日年達八様半から8 - 考慮方原堂(林士三郎氏越茶) 発酵を重ねたが、右位地域川曳帯は野部工事による重製活機跳を銀一回、立選補信費は比較的に家庭制 が調修に郷田すべきか否かにつき

して、質行委員三名をあげ、単金

【大邱】遠城都路城面池山湖五 五年を求刑

東電の下に開廷された 東電の下に開廷された 日本の関連の下に開廷された

は八日午助上時から大師地方法院 住居侵入、防盗事件の第一個公判 八腿業孫吉羅、こにからる城穴へ

で江艦級門長保、埼本極事(証州)

平島行き第八七二列畔が出興、新 [平遇] 八日午前十一時頃長秋龍

【新嚢州】平北線由生れ近川邑陰」を無差許にもかくはらず助手の伝』以り頭部を磔き即死せしめたよ、順川宮では事前取調べ中

かゝる年間(・一九七號トラック | 道路を積録せんとしたので連即を

に最適関を買ったのみであった。

岩窟のグロ死體か

奇怪な新事質暴露

若妻無残の死

密輸の黑幕

業者捕まる

都計工事により商品その他動
斉衛間に関宝(最壓適逆案)

一維津建設途上に

路上に顧倒し後頭部に深さ作績に

亦痢患者を診損ひ

隔離セギ人院さす

【仁川】上山から始まる交通安全

中せんとした際、急に強用

大邱の花祭

傾はる障害解決

建設聯盟で理事會を開き

里要五条件を審議

変異は、こと物理したが脱固不明 底壁に自豪で皮膚流目の不暇文字 起となってみるの野が大い、東韓へにより右は成川 を発行な、東韓へにより右は成川 に不足は支払主目 を添入せしめから ののでは、大いのでは、かいのでは、大いのでは、かいのでは、大いのでは、ないのでは、たいのでは、大いのでは、たいのでは、ないのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、たいのでは、大いのでは、大いのでは、いいのでは

悲しみの

明川署に

また算い殉職者

政安藤署長のあとを追つて

佐藤警部補心逝く

から木浦で維護費を登んでゐたが 【木浦】姜大朮(『o)は約一ヶ月前 雜貨店開業 は三百八十餘名に運した

盗んだ金で

海で盛んだ地金その他級千圓を武一監飾の末お定まりの整響となり金 の金海海域に引張された、姜は金一金融版「三は六日夕風開館と飲酒 関南宣海器の手配で

逐調され来木 【大田】洪城郡長谷面晋开里露天

本に木浦で商資をはじめたもので 公衆の意見を

またくく案出した 大局邱のサービス

運ちやんの優遇

丹頂チツク時代で經濟で高級な下經濟で高級な手軽は断然手軽がた上品さぶり、

¥ .50 .75 .120

韓なず た日本国ンプラグ 店商井沢設置

M 2

旅行 عبي ويستن **計會式株論明梦(版大・京東)**

悪の華 南浦署の手柄

◇その一 か

洲語の製音師に引つからつて見事

【大町」 領威忠務署では突如去の一を封印して直に消息の販政界にを

サッカリンも使ふ

軍威稅務署大活動

一春に難る思の雅…

春に躍る

通行中の少年四名をはね形はし内 機能何直を沃定中機製面石始里で 司法定任が批場へ急行、 一名を即允させた。東京的から四

午後一時十五分泉茶台丸仁トラッ 一三五八號か貨物積取りのため一

【宇山】またも交通事故 ||--八日

|心は岩月二十三日十一

一名慘死二名負傷

の脱税

○ 日本のでは、日

地田 曹 旻 ら 凱旋
・ して調子が手背をが発達して、電子が作等に表をの対象を殺した。 というがは日に大きがいりない。 これら原統に加速との対象を殺した。 というには日野はの後 つくこ話の形態というがいるというない。 というには日野はの後 つくこ話の形態で午後 こ時内式、近週りをした。 たに治田野はの後 つくこ話の形態で千後 こ時内式、近週りをした。 たに治田野はの後 つくこ話の形態が手がらいます。

大盗奉天で縛に就く

| 相選・会支部・総合|
| 相選・会支部・総合|
| 相選・会支部・総合|
| 相選・会支部・総合|
| 相選・会支部・総合|
| 本でして、これに問點人士の上のほのでもないらし、表現に入ったかキ……

平北の痘禍 依然終熄せず

逆痛と

累計三百余名

【新奏州】平北道内の天然痘は位

高報中部地方には未だ新駅の選生

か昨年十一月の初間以來思清祭計 を見、七十餘名の現代思者がある 蹴られて死亡

優る良品!バリー製に

一葉から急所を蹴られ苦悶の末七時

是 第二字 Face

第十の関之が高く、将來を期待「賽號部岛等課題符を命ず 第十の関之が高く、将來を期待「賽號部岛等課題符を命ず 第十の関之が高く、将來を期待「賽號部岛等課題符を命ず 第十の関之が高く、将來を期待「賽號部岛等課題符を命ず

山行ひかり四三枚▲新京行ひかる山前を大行のぞみ三五枚▲釜字は左副の如く好成織である 地の折柄、歌迎され五日までの数

交通安全

二川署でも 行事を計畫

弊を行つて間もない七日更に衡生|

しい形見として夫人に手交され 別車のです女なく、この任言都令も袁 河車ので子女なく、この任言都令も袁 オスポート

列車の

貸毛布

【羅薦】明川警察者では恩度のた] に安藤巻長を奪はれ去る四日書

在佐藤寺一巻記伽を失つたー

度につとめてあるが、奥に一般 本意気を交換し参考にすることに 改善につとめてあるが、奥に一般 本意気を交換し参考にすることに 2ならぬ努力を掘つてサービスの「最も利用する有力者を訪問して配して配」野町局では應量の通り 一 | 関記主事六人が姿代で通信機関を

纵

リモに店品粧化・店瀬・トーバデ名

交通脳骨の總會へ提案 忠北保安課で準備

洪城郡教育會 [是項]

三年四十名、都合八十名の原定三年四十名、都合八十名の原定

郷川尚新代面東代里市貴等所有に一中、師里立東草の蜀金融等が一か一年を大使せしめたか幸に避は顔面郷川尚新代面東代里市黄三十年、師里立東草の蜀金融等が一か一年を大使せしめたか幸に避は顔面 **咸北辭令** 安農習校長 爭 善

東東原曽校長を命ず 任曹校副導、安後曹校長 福南小校訓導 山田

山田中佐

聯隊葬

故人の徳を

偲ばす盛儀

軽用高等女學技秘員を零託す 意外 鏡坂農業學校敬諭に桐す任實業學校敬諭、

> 1

[羅南] 故少兵第七十六破隊的山

らは間點放送局です だつて若い都に負け 省公署の松下さん 來た上、まだ勝貫里 とてもの帰硬論書と

職院長の切みたる用鮮に煎売者は等の意列者く、定刻着糕の後高尚

長にか各版長、官公置学校、際盟 中版剧長、知事代理下飯坂醫祭部 日午後一時から羅南儋行町で開式 出殖中佐の朦朦朧は既報の如く七 により行はれた、鈴木師節長、田

来て鍵を眺め んぞと緊急は相當な ものです

人館代表などの用節朗望あり、 並かされ、置いて同期生代表、

ボッ (一老嬢に入つたかネー・・・・と思ふと 何を言ひ出すか 聲をもらした後

みる感感であった。花質など放人の億が偲ばれ、稀に

運動 بس ومسيور 選及に

電ル處菓子店ニアリ 金

連七作人

の多人という

103

マユメ キノ

企館の人選者変製式は八日午後一赤十字社関節本形の第一回対兄無 優良赤ん坊

ためさいので容器の中の布で包ん

本泰鍾、趙仁忠、 英編均、金問國、 任源 株、徐光米

よる心容器は日本

れ金魚藻、即の根等を保つて人

幅一、雄二の別で産卵並交は底 一尺、水深三、四寸ある窓路に

繁殖 粉色好時期で銀金魚

(五) 上潮は双外に早 上側に先まわりされ

つて來たら、自分の酷を離れ (四)春は突風の思う の対近には独野に入らぬこと 遊加塩とか、テ

厚藤だより

京城師範學校で



副門まで伯父の建てたその優です 云ふ、だからお前が折角の頼みだ

淋毒子宫病

歃

绿

向舌笑した。然し何とか致し

職群り放着、目鳴り、手足の水の直ぐまた腰や下腹の引き吊り縮み小水の時に膝辿の割き吊り縮み

・ もなくなりました ・ ななくなりました ・ ななくなりました

村上

日東製薬給會社製品

子宮にぐんぐ一

容量、水かつなぞの

他に様か数のやうなものを興へま

わけて脳の容器に移すやうにしま

刺身のツマ

あがれるがれ

否が京城府に於てもこの目前の

門隣の家庭でも、ガラスの名感は 簡単な切り方

ガラス切

機の針を一本、普通のシヤーブ 一計を入いる時、鉛銀の心を少 針が中へ入り過

. 独しかなく、心配やら不安の工能があるやうに

北出た苗い内になりました。

會安慰で院病戍衛山龍 記年間生三立師、後午日八はで院頭は黄山龍 軍や長部腎電厨でよし温比會安野者趣の念 感を深篇も登者歴めあが強殊の数多者保羅部 たじ與も打に興産てれ 艶が、その腱へ手を載せて、

犯売に打動をするときに、鉛の入

胸を痛めるお艶

で将軍標は直に江戸へお離りにな慶樂をと思った奴があった。それ を幸ひに、働り天井と云ふ物を拵

羽の國へ配流された、好で訴へて

がクリーム色となり自色と辿り。 行月謎中の辛さも一人吉男をしました。最男々に縦っだり、シン/〜と足概は含えてまた眺か雨天の助日に頭の窓が多き魅手足が神経病の総・子宮貴真内膜炎で長い間他のほじる下脚や

れたものと思

時通院して東明音楽を削した (治した) 変色い説の臭 をしたときはり たれたときはり 翌朝出館した らくらみがし 標

E. 同様に使用してる 医呼吸证 田谷 誠

ちちに三年過に一度が一年

使用させるやうにしてゐる。 | ということ (b) (b)

悟道軒圓玉 銃を起して三代將軍家光公を討!

巡つて害の

强

『た 山村 「痛と鼻血

Ŧ

楪

を座立人のた地図、温度に到し起まで 能く 意み 地つて設 図を早か園町、緑地をころに 選りことで、また。くと いっぱ切り、か果がるにしても地図、範囲に子宮内に入ったがの時間を買べること。

一當を正しく早く苦痛の 敷々

(

ヽまてと いかない

手足が冷えて痛 関しい様でし をワセトンボ をフセトンボ なりました

たワセトン場が思者に使用してれたものはあれこれの手當

子宫内 子 炎 檘

み、顔の凝り、頭重、内股のしけ、手題冷え、下腹腰の縦

現れて質賞としても聞る前足別き吊れに一番明かに効目が

かること出来ない臭ふもの、 でされてあるから、砂密に用: ではないないが、砂密に用: りそトン球に効く上に飛歌 處女、若奥様も 電單に使へる

を指し機能に接続は優めを買く でお取りであつた處女 を指し機れさす流れ出る不 を表

+

す。直にお治し下さい。本概には絶對の特色がありま

帝大病院 婦人科本院でもどしく

を確めて以来としノへ出の出来る如人無である

ľ

一適

四大日本製薬林式 雪旗 **金国変る戯の薬店にあり**

一科展開く

是非描いて見る一両部伯語る

二科展を既に人城した東郷清見、一科版の如何なるものかを見て載き 五十億、尽生三十億、原體十億で一尊的立里を採つて並んで来てある

科歴の如何なるものかを見て載き。| 伸びくくした虹のあるのな趣起ので、この惨憺に一人でも錯く二 東て見ると置に御鑑で観覚に代る寒秘立思を決って巡えて迷える。 た、殿龍なものでしたが、京原に

春の京城實業野球リーグ

の結果を無難して投票を帰留して「避醒周辺が仁川に顕鍼となつた、「出て来ること!」、蓋し天下の歌頭に四試合があるので、との試合「本意本語識した史証中歌、徳は「茲と、技手師のノッ王異谷川毘が

三人の拾ひ物を得て仁川

さきに殖紙の先飛早連君を迎へ、一コントラスト

▲京城質楽野 球臓艦では 今度の

地王国を築く殖泉医暦部では擴張 || 日午後三時から新選成つた離録コ || スクリーンの細前規地では『私だ 製行内の紅白紅台も行った、なほ

つて女ですもの」と云ったわけで

現中に、ことにいるためが発し、タが順度けすると例だしま とすつかり意観投合しスクリーン

ガキ連日殺到す

豫想困難、今年の首位打者

あつたさうだが、常番たるものな

ると、本町裏で電柱によじ競って

深語・ユース

> 强殺菌、消炎、深達の三作用敏速的確にし 對に企及し得す本藥の最も特長とする處の

し治療期間を極端に短縮せり

治淋藥ゴノフアミンの驚異的の偉効は、

座票等の迂遠なる票劑の絶

は、くらやみ社技▲朝鮮やネマ・海のよくられると前子▲投資・接勢十字路▲同のロンピア・月光経過曲▲同・マ

映畵檢閱日報(山田)

一道

DIDAY.

GONOPHAMIN

淋痕注入新菜

急性 慢性 淋疾消渴 膀胱力引品。通知描述

I SAKAMOTOYAMHIBU

脱カタル、尿道消毒、

慢性淋疾、

消渴。

膀

個の衝倒ですからスケッチっして

早くも水シーズン

||京中プール開

東郷 青兒氏

た、内地で見た磁の窓想はいじけ に來て見る劉即人の生活とはまこ 設関した朝鮮人の生活と、こちら

地

有名

斃店贩賣]

Æ

回 П

京

滿鮮發賣元

阪本治作藥品部

(京師コート) (京師コート)

春の龍球リーグ

最后28 917 81 7 龍中

ー語氏語臘の一妾生活を捨てて市匪古の出版業者。 が何に酸心したのか、そらしたお それから四ヶ月日にはアッサリモ

若草峽画劇場

發學生三十銀均

リミルに対くとうかとないます。 ジョージ・バンクロフト・アン・クラブやレストランに現れてある D・ロス・レダーマン監督作品たのだがその常日から二人仲良く 地獄船モルカン

無ニュートーキー漫画へ及の明明 一二原は時れて明 一一原は時れて明 一年の原は時れて明まれて明まれて明まれて明まれば明まま演 天保忠臣士は薬敵ですぞ

部品類社會名會狂膽量

八新曲五郎正宗

特別大公開 十日(日曜)

ALM!)





壹泊金 代丹三拾銭



秀雄水岛光代あの道この道















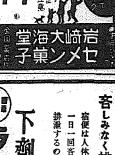


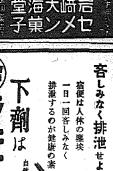




















0000

で頭痛を忘れる

・ 見本請求數迎(mpakemx) 見本請求數迎(mpakemx)



の此るれさ證實てつ依に例育哺たき生の





法人登記公告 語院**金川出張所**

痛苦痛

買現に努力する 局田農相が意思表明

武富氏が質問

衆議院豫算總會

あることである、その

貼は同感

うで生命はあくま 古の 駅光によれば 力の 駅光によれば 小型 駅後ボール・

貴院の態度は注目

WTは遊べてゐる をの現象が現れる が聞に呼ばれるか

一郎に何等か犬服 のしい太陽を振得 がしい太陽を振得

勝の削縮後もあ

温にがて何そ

米穀三法案の

職場は頗る緊張す

真剣に行はれ

の委員會等が明

提出

死に提出された

後二時京城通過一会。現一日

の度定で工程はお見込であるが、常線架管は近く 送電線

一日職城の筈 一日職城の筈

地にはれてよるが 東すれば萬物は 東すれば萬物は 東すれば萬物は 攢 定

は能効治主る誇の布妙 金五十銭 金二十銭 金二十銭

房藥綱蟬邊渡離舖本 地播一十二町造區布區市京東 (番七〇六四京東哲版)



子大月下仙野田 郷野の再樹的を 記録の再樹的を で大月下仙野田 見られ、その成

提牌し到英外交 一般神について配 一般神について配 一般神について配 一般神について配 一般神について配 一般神について配 一般神について配

評を得ております

獲得の道

テル、汽船野礁に配布することになつた、として第二陣「金剛山」の実置なポスタド

元朝鮮と金剛山」 海、至、壁の交通機関を動員連絡して東洋の観光路を経

上海九日同盟)來る六月十九日一整化、無線電池傳達狀態の變化

を測定するもので、この経好の

歴ノ里 ○暦の組し) 器 詳

代の蓄荷が安で、節費な上述、該奈くくになり、その頭鉱炭類も傷の蓄積数は、やはり明治時 ので、こすがの顧難既接頭もるのは予暦のはれた時刻、柳 三十分にわたつて叱りつけた

明治配に、明治一代女が上演」いく窓になりやがつて、おついといふ通知であつた、丁度」にちゃはやされると、すぐに

をして出席しなければならな。おや、すこしジャーナリズム

太郎!この有様は何たる開館

わが新城博士らゆく

球)佐田(巻)石井、津島、大」とつてはí新手となり、保田投派の「トを脱當にとつて早川一壁に刺し城球塊で開始、朝露先攻、審「撲となつた、此の野獏が纏進陣に」迹にリードした此の回早川のバン二回戦は九日年後一即七分か「撲となつた、此の野獏が纏進陣に」迹にリードした此の回早川のバン二値を財ぜんとして焦り、野「早川、小等腹躍を連ねて渡り強般質楽野成春季リーグ強級對鮮「腹の二値を財ぜんとして焦り、野」早川、小等腹躍を連ねて渡り強般質楽野成春季リーグ強級對鮮「腹の二値を財ぜんとして焦り、野

鐵道は後半の追撃成らず

野を二総させ、内野先と懐打で辛

田監督ド日に立つて四環で出た河一き打者なく、前半全く遊信の一方

出ず八回(殖民李投手となる)永

遞信押し切る

投手が力不足だつた府廳

安勝の場をよく打つて二點を収め

大鐵勝つ

對全大邱鵑

第十一回風國オリンピツク派追選

承旭(遊正)三四米七六 | 1到約第(鐵道)三九米五2白

李東墳 (京城) 四六米四○

廟西大相撲五日目の九日、朝宋の 和錦園俊媛麿が陣取つて超端真の | 獅ノ里下作された

大和錦が遂に優勝す

人勢四で法政勝つ、閉祗二時二十人勢四で法政勝つ、閉祗二時二十氏審判、帝大先攻で開练、続同八氏の年後等時、帝大先攻で開练、続同八代を明明、帝大忠攻で開始、第一次を明明、帝大忠のでは、明明、明明、明明、明明 (東京電話) オスタ野球リーグ法

名前は居れたがアメリカの通俗

對帝大戰

考へ方もまちがつてゐる、嬰する。就は爲何でないものとするそんな

川(法)驀澤・三菱・慶田・バッテリイト(帝)久保田、縁五分

材料はおほくの人々が集める、

降りみ除らずみの至便探も午後か一點況、土俵では各職體の好み相撲

ら陽差しを見せ絶好の用撲は和、

が出て人類を呼んだが、本此お好

大和錦(〇つり出し)倭

00300005

正面複数は粗鍵らず天龍、大一物はばたノー喰はれ天龍、錦洋は

人質品洋、上宮山後援一勝つた、この日の暦夏式の通り大

直しで場内を沸かし結局大和部が

津軽岳(〇路がはし)能台海

上海の日食観測隊

一等出一回職 一等出一回職 一等出一回職 一等出一回職 一等出一 大海山 (十年) 一年 (1年) 1年) (1年) 1年 (1年) 1年

何(墨)四氏審判)立教先攻で贈る球塲で藤田(琴)坪井、長澤、よ屋第一回職は九日午後二時二分部

「他の驚合に於ける空間警後の「その驚へもつそりと現れたの代女」出版記念懸は、凡无此「天下泰平であつたが、中がて代女」出版記念懸は、凡无此「天下泰平であつたが、中がている。 飲んで吸つて職つてゐる間は

この間、帰僑の『義清』で展っかけること、かくて賑やかに

里見弴、川口松太郎を

く場が

2 劉寶與 (培材)

一萬米央勝 一萬米央勝

七人はラグローは今年から第三部。ことになった。第一部二塾門校・

實業職、第二部中等學校である 城大運動場で華々しく火蓋を切っ

六大學リーグ

四百米障碍决勝

相撲は超満員

錦羊黑星

四要は肌の二甲石を抜く

記は無期力を除ぎ、緊頭から関聯「信の打造の好群となつてしまりにを髣髴を関係であつた、案の定、富、富地の投郷には契着機力を実ひ駆手に起那して身たが、これは実に「加はつて、走過が出るにおよんで |府縣は新人富永を継信は中島を投 | 多く、加・るに一般の失策なども

戦のチャンスは望みない所で

0 (0) 0 延行

な城大で舉行

人制ラグビー

新聞小説の方は、むしろじぶんの

小さなことが問題なのではない。

たるのであるが、歴民作家が歴民 が即ちはの現在やつてある仕事にいれる解析をもつてある。この不識 で描かれたものがないというこ

題付經濟の行結りから小作の 新居君の早起

も突が顕著である。」と論述せられ、師問書の中に、「治と論ぜられ、師問書の中に、「治・と論せられ、師問書の中に、「治・と論述られ、所の爲費」 誠に擁威者の 書の中に、「治験りなかろう。」

香だするギの世界ない事質であり 製門家の等しく歌むる處、個人も 解禁にあたる翻談であつて、東西

になることが終いから、結つたと ール水のものでなく、それ以上にも期間は戻って気が飛暖の観性部 中で前も健家の歌なるアロタルコも期間は戻って気が飛ばたなって あつたものは郷壁がある戦が崩いから、激騰を飛端せしむるものは無 彼の内服無殊に家傳藥等と開す するものもある **整柄、挑剔**野 るが哲々臨床家が常に混配しつゝ 淋疾に對する治療性として種々あ 人類幸福のために 醫學博士 北田幾八

の絶對偉力 イオン銀

とが私の仕事だと思ひ、私は際は であり、この缺陷を埋めてゆくこ における歴民文學の決定的な歌 みてゐない、これが現在のこの

(星並献文) 〇九團一 品及普

を創立したい

則東京吉原遊廊音原病院長

根本征服

佐藤榮先生の意明創製

に連載小説をかいたり殊に新聞小をかいてゐたそうであるが、私は 年になる、婦人種語」もそうい。組織的なやり方で小説

いふと、私は何ら矛盾をかんじて 矛盾を窓じないかと

- 何んていふか料 な仕事だと思ひ、常願さへあれば、に、韻鄙的に人のこの人とし 紅い」と「雑雄」と一つしかかい、矛盾しないであるやうに、でも、 私は新聞小説はまだ「盥架はなぜ」さりしたものがたべたいときと がへてゐる、一個々々に「山」を 地方の新聞に『慰婆輩本』をかき、つたといふ氣持ちでかけるが、

さらいる現實の正しい見方に立て 要によっては空かするものに実するとを作っ、ベルサミが、解析的して、『出版のような、解析的して、『出版のようなことを作。』 「挑埓は内服

般内服薬は往時で、ザロール、つ に思はれたるも 窹 を対せしめ、 至十瓦の稀潔の學液で、味道を洗

原所の世の静脈が土等も、その書 のみ。」と論及 力が強い鳥め、優か〇・五乃至〇つたが、ケンコールは非常に掲聞 法には餘程慎重に悠へる必要があ 災略を聴すことがあり、薬人の数一 八尾の使用量で充分で一回毎に一ります。

との 反響に聽け

豫想以上の成績 醫學博士 西蘭一郎 る療法のない今間に於てケンコー をなケンゴールが触ちされてある が続に歌し現代離すべき時期な きことである。 ルの出現は人類幸福のめた成ぶべ たのであるが、此の際に理事に促動が的確なものと出現を果んでも

、 数にからのは断舌原病院長を離氏しない。 ないのでは、 一般にあるのは断舌原病院を切った。 はし他れも無効に成った がらをして、 かいのでは、 かいのい 悉く快癒 醫學博士

の襲戦にかいる「ケンゴール」 ある、余は四十一窓のかなり重点の襲取にかくる。ケンゴール」で 武みたのであるが、京範思者三名なる姚病患者にこれを襲ゆ治院を 一選数的効果を収め得たことは影響を取く他の卅九名は「器」(快搬し

説の株式會社一

埼選手能大鹿第二日、決勝戦、延 明新時形場館主催第二回全朝新

普專優勝 對延專蹦珠戰

いまのところ、新聞小説をかく については何なら私が「小粉

歌は鑑賞すると 野に避はれ、か 自繁経版が吹な

東 大 け に でき起動を小型に関く軟が か あつて、以悪が過に原動院の収録 た でき起動を整す歌になるから、 世 での 歌に歌になるから、 世 での 歌に歌てば、像器観歌に歌声歌の歌であります。

が 使用に用ふ意識は懇談になく、戻述 つて之際形態証を達防し書るであるから、 配覧安全に何人にも 整。の影戦もなく、 懇談に安心し て使用し部るは初館の最も報告と する戯であります。

効果 顯はれ

純文學と新聞小説のこと

は金焼とき取して、その壁房低しても、始心することの世界ない所のなり、既能調整が成れ、 なの壁房ではり、医能振露等が成れ、 ではないときない。 てゐる內に飛艇文無疑を繰り返し

治

前東京吉原遊師吉蘭将院長とし

蘇々たる好評

ブラオン銀の

和の歌に皆へ以次郎の歌に皆へ以次郎の歌に皆へ以次郎の歌の歌歌を起し、 野郎殿が、歌り歌をして家歌のける歌、歌り歌をしてない。 野り歌

称すべき特別頭のなかつた、映図しれ一つほ脱病治験に難する、酸 がたれるが概でブラオン駅の出現 税械でされ、短時日に治療の悪路。 を取り、警師も脱霜も地に観響に を取り、警師も脱霜も地に翻響に 來するに置ったのであります。 によって、治湫黙に一大革命を掛 治 淋界に

にもとづくものであります。

帝大の發表

が病治療に対する理由し、學界多年が病治療に対する理解し、學界多年 本卿の出現が著しく

安全な局所療法

た。 あるかを知る能が出来るのである。 あるかを知る能が出来るのである。 を報ばよりは節せや出文が凝媚する を提供しまれば、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様機能・など、同様性にない、同様性能・など、同様性能・など、同様性能・など、同様性にない、同様性能・など、同様性能・など、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、同様性にない、これ びかけ、弦に断背話数の形容を同 の試験を仰ぎなく、簡明が名は呼られん事を切望し、勝く専門警察 し、心理なる批判をおふものであ

+

肺下げ器可

今ぞ爛漫

0

質施後に残る問題

今後お客の動きはどうなるか

府民識者の實狀觀察

た間頭で道、耶、醬林

事(金属里緑橋から奉日川まで)

【汝山】既報、追直置で施行す

【清津】端洲國棚街第二次税率版】▲屋蔵県も重量税を後債税に敗正、勝で治療してやると務し、去月

◆近別の開発を引下げられ ようり以下のものを引下げられ からが放の立風を駆取したことをでり以下の物が高等で不合理故 からが放の立風を駆取したことをでり以下の物が高等で不合理故 からが放の立風を駆取したことを

この性人札の結果、四萬七千九百

あつたが清津曾藤所ではこの程左

並上下被品の區別をなし一様に三部の從價税であつたが不合理

西湖津延長は既報の如く問題の一

些ず一度は世界に努力したものと

機主側の反撃に遭ひ有耶無

は政治經過軍事上は勿論民跡

府内料理店の機主と基始技を指集 の調査をしてキの長所をとる一方 來部下を督勵して内鮮各地の舞笛

置き忘れられたのか感があり、米

惠山線沿線鳳頭里附近に

心家が治耐したので戦器設計を

が流行の洋傘二本を薫引して地へ て安東に赴き市場地穴丁目井上洋

らうと思心を超し六日夕暮を待つ「で散襲中であつたがこの程能く完

春は罪作る虚榮女

表(で)の妹白春心(で)は、胎段の隙を掘つてものにしたが序

品版の洋傘時假十圓のもの一本を

なった、進水及同路に直ちに城池 作事務打合賣を開盤の下に小成一、十二角進水武を行ふことと 町八時から門肘刺事総裁の下に小成一、土二角進水武を行ぶことと 町八時から門肘刺事総裁の下に小

小作事務打合會

良兄、離乳兄等には全く好適の滋願の謝い人、腺病質の人、産前産後の人、胃が、病中の人、産前産後の人、胃がすることが出来ます。虚誤質の

一般から沿附金を昇集中の底しれが改築のため五千種を目

六日午後七時頃三直海班子海附近。案に命つた末、釜に播つ掘つてや、しまれ直ちに豚鹿へ 江際治安議連進長以下七十餘名は、とすれば既にさへみるの始末で思。本持つてゐるので見張の數官に怪

合種税率の引下

人館を開催すべく湿々準備を進め

報酬金

重確非計

代に

本社優勝盃を寄贈る一覧を出る

瀟洲國の關稅改正に當つて

清津商議から要望

組合、郵便局、商業學校、郡醫(戦隊源の一部として本年度から府南東會社、岩村組、銀行、金融(戦隊源の一部として本年度から府)の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部の一部

威興」府では各町四部代の献身

大林 内四十四町前に最高四十回までの

明らのは盛んに

こんな場合にど

戦弾ご答。 ことととと、 との世襲に単第面に総代報酬交は實テームと 總領一干圏であるが各町館にもこと練り上のであるが各町館にもことになつた、

◇御來客の接待に 利用されます。

12115の日は非常におされて来客順とし、 臓影磁に燃で来客順とし、

教師は額を計上するやう指示した

うな花見衣甕は勿論のこと流行の。足取りも観やかに南陸派出所則に

賊を走らす

首長さん快ヒット

國際都市新義州に恥しい

花柳界制度廓清に乘出す

では更に全高味山の公園化に取り

に併行して延長歌説されるため西 交頭州解分にして

人口の峠では二等道路破製西

始された(慰眞は木村組譜資の蕃)の大家柴田松波氏はじめ幸流破家

の紫斗奥氏、 前出版すると

狂!

党で北湖出動印家が間金遺成能樂堂で北湖出動印家が関金遺成的樂

は特に駆世流

春川能樂會

驚くべき―

養;
効;

かいることとなった。この公園で一品館

汝山」坡州郡街洞面軍勝所聯合

街洞面事務

娘は向ふ見ず

憧れの洋傘を萬引に出掛け

姉さんにもと慾張つて露見

「法定原発情報制は「成興」四月末における威窟返内

精神で逝すねば健に無理押は必 登録者四十八名の内十名の合格者 精神で逝すねば健に無理押は必 登録者四十八名の内十名の合格者

でしたが鬱鬱的には窮年百四十一以上の毒散者(重常陰戰)以上は「知を鬱して映画と瞬滅愈に入盟さ

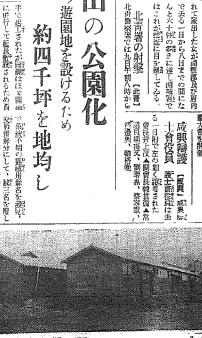
家出女が六十人

開城署で目を廻す

、敷の全部、頸鮃人の半分及び各 め府と穏軍分爵では府内を地人 で投酵堂で開催される、これが

機に関し四千百餘枚の券附後を はこれが概要に目を廻してゐる。

る一日附で左の如く聡可された



まづ遊園地を設けるため

約四千坪を地均

の公園化

六十戸既に完成し

何とも云はれぬ香氣があり、その東味しいことは、飲んだ八萬人が東八てこれは美味しい」と覧かれます。「を引この」は美味しい温と窓がれます。何家庭の團變に、來密のれます。何家庭の團變に、來密のれます。何家庭の團變に、來密のれます。何家庭の團變に、來密の

万中旬には完成する話である

北江界に向つたが自動運搬の敗落 を科学療多額に留得し、翌五日平義國氏は去る四日來新、同夜有志 T戸を建築中であり、第一版場の | 画楽画、弦友館、読交館では愛國型画楽技師に三十戸合せて百二 | 【春川】 離曲同好者の集りである 時に収容する邑のバラックは第一 近場に六十戸、店舗向三十戸、 漢里] 都計工事による移轄者を一方面の飲漁調査に採出す酒である 羅律の街に 建並ぶバラツク

万義錫氏新

舌も躍る―

爽快な美味

と考へてゐると考へてゐる 斗養滋の向人萬!いし味美もてと

「とりこの」は滋養料であり乍ら

会が振興状況其 の一部間の限定で 利一部間の限定で 『記りるのの美味しい四上り方薬本態品

大日本維密豪議談紅商泰部本願-東京小石川音材

全國藥店百貨川販賣

春の寫眞撮影大會

介口はどれだけあるか、 この解釈を書があるだけで同劇場と、 らの開窗内客は「市内の映画常設館としては栽芸社会の開窗内客は、この「あることが明らかとなつた、現在 **育を催します、周軒の土はふるヤイ御髪曽下さい** 十七日)三和公園(十時から正午まで)と萬兩機里遊蘭地(二時から四時まで)で葛英捌影大十七日)三和公園(十時から正午まで)と萬兩機里遊蘭地(二時から午後四時まで(雨天の際は本江鎮増湘支局では鏡増湘カメラクラブの後接で十日午前十時から午後四時まで(雨天の際は

から實際警察署へ突然

一過館略に着目した松竹王園がその 巨大な資本の概手を伸さうと

元明二八二、科容素の積神病を新.め丸はかねて東海岸の矢倉造船所一

管学に觸手 警察へ實狀問合せ

収禱師の詐欺 (開盟)

りの死輩は六日平後十時下流で翻記った/殿神・選先の北/殿江で遊船顕置のた/殿神・選先の北/殿江で遊船顕置の上/殿神・選先の北/殿江で遊船顕置の一大/殿神・選先の北/殿市・選先の一大/殿神・選先の一大/ 改裝成るかもめ丸の

ーを勝へ猛練習を開始した では左の通り斬球のベストメンバ での野球 公家運動供業部

◇運動競技の前後に

ひて非常に重複です。

音樂競演大會 [開版] 日まで 日まで

一披露宴 一天一芳に記者園間島省野務館長

一杯は逃かに心勢疲労を気が、流がを挙し、運動後のが、流がを挙し、運動後の一杯はを引に継 微いたしまする

◇ハイキング、旅行に

◆病氣見舞、その他 思ら系統直依するでせう。 に解めた一杯は湯を飾し、1 に解めた一杯は湯を飾し、1 いまし、子様によし、

既合、会く中分ありません。 既者、監禁によし、使歌は がより好適です。髪く卑存 がより好適です。髪く卑存

大邱の飛檄に關係地獗起

馬邱線期成會《大勢合流

医女に死師し | 部後ひモかに僧垣さんを訪ねて治 ん(m)は光年 安藤郎二郎着(m)は縦く師師し放 人僧垣繁雄さ を開いた大邱際學塾門學校四年生

上に投げ出されてしまった。これ

の別様までに改築すことに氏子總

館で踏決し、工程三萬三百六十

鎖で直に起工することになつた

一般の一切は氏子の労働によるよ

置されてゐたが、來る十月十一日

の健康で腐朽に等しく出象を計

」が此些が所は明治二上

學生の情で蘇へる

手當法を教へ樂餌代までも惠む

薫風が傳ふ佳話一つ

及水道敷設等に型する調査研究中に対し場山府に委響し数地の適否

離任な承認

||周で建築後北も窓門し、服勢地|||周山]||中駅校建設に関しては進

ちかく起工 竣工は今秋

提供すべく折断、校舎建築の準備

十六名に對し買牧船に無代

中級反射成局監督では馬山府と協ってある、買収の標準は六十

力校舎動地一萬四千五百郎の所有。 唯の重定によつて買收される機械

さきに設計せられた核音整地は、

を使つ野である

川では社 は十萬間とし一般の部別

「瞬間知事、質長門脇所事で御造

でに書きつけたが邪戦師の地域 がいより、具體化し春質療設立 大印』昇松を目さず大邱神仙の

内生産品は依然地元には四面試みに外来品を標準として道

居た、怪態度は押牧したがスパイー海事態當時の怪態度帖を所持して

経ひがあるので馬山智へ身元郎

敷地は解決

渉中であるが、所有者は何れも期 解決に日下期政會施に馬山村で

寄附分糰まる

製御軍將校の姿をして居たので上

宮町李龍順つこといひ上海で装

高等旅游事が脳緩取調べると馬山一帯つて、直ちに工事に着手、本年、総禁由資齢、有数製五十億分年

る。 間が倒含は經費其他の鵬能上。として徳氏工器用土地に既に手續結水期即までには竣工の愛定であ。あり、無繳察は先年批務所官司業

同核会面側に建設し、新型船と共してはそれが、手續を要しこれが 明年四月迄に敷地二、五〇〇年の「完丁」買收済なるも、有縁幕に封 人が飛船して居るのを本面書」が開係方面と送衝中で近く解決をでる者もあり殊に同数地内には無

木浦]七日午前二時頃上海方面 | 地主三十六名及有総際五十有餘あ | T作を急ぎつ \ あるが、所有地主

り、これが戦地には昭金上水主任一の特志者顕出し、無償提供を申出

上海方面から木浦に寄港

スパイの疑ひ濃厚

遺形については既報の如くであ

奉贊會設立

大邱油社 适營

地元生産品は安くせよ

油類、ゴム、製糸、洋茂等か越物、酒類、機械類、味噌器

期の運きを感する分で質に切實な計量で

既したので道ではその意見反映し 空下金階組合の利下を断行す

大理教徒の

朝八時から午後三時まで、府内架が人僧録二百名は合同で十八日午 [1] 仁川天理政府の青年館、

か、奇馬た申し出を快く受けるこ

を励れて職一人寄りつくものなく

【華山】府が計説中の二ヶ年鑑録、トに選手る別合である

一が舗要され全道路の四〇パーセン一から邑内各新間支局長その他關係 は合計十四萬平方メートルの直路を置の召集を機とし七日午後四時 大倉町裏通りその他で完成の聴に、警察者では七、八個月寄代駐在町

報会競交部主催の金組押事協議。 月間間の病に取りつかれてばつた。 出るやうな介抱をつよけた結果、

、よく十日起工

離臍を開いたが、その際上、各理 | 院はしたが、治院費がつよかず |

釜山の道路舗装

對山署慰安會 [第出]

【清州】忠北直では五口の金剛組、抱へて継々と暮してあるうち数ケー選いて顕代金代末でも思む聊期の ちかく實施 **『以来上五版を頭に四人の祖児を一座手當法を敬へたり學覧の一部を一**

上で松島内荷部長飛扱の下に開館一直かの金を上面して直立樹蛇に入して一種の光明を見出し大いに緊張 引聞きた、上南月即回支事費。 カ野込んでしまひ、その後やつと、この語では次第に快方に向ひ削途。 ヶ月ばかりで退脱し領來國際書化って際へられ安康者の奇特な行為 るべく食職関策を訴じ発酵の努力どん態に喘く漁家の組織患生を混 北な部落六箇所で道水産試験所市 を掘ってゐるが、今回は特に漁家 勢、都水産係木竹南技手を招助、 の自給自足の質を駆げるべく去る 一日から來る十五日まで地區内の **後期工業的限を用機中であるか**

對南洋貿易振興

釜山商議一行勇躍して出發

被祭に大きな期待

最も漁家の副業に適した「敗良わ

【釜山】水僧の苗代播種期を間近一マトラ、馬來半島、温雄、帰職的一待をかけられてゐる、既に昭和九 經道關係各方面に陳何書を提出の

る陳信仰は左の通り 質視に向つて適遇することになっ 本場合意長と担勝へて上城これが

部位會長は八日午後六時半出録大 上本格的に運動を試みる事になり

【大郎】既景の如く中央総直開館 化して愈よ来や十一月の変行で門 側から、常枕、五十嵐南氏等九名 置をつもどいて説明した後、軍事とになり、財威連動の陣容前に温 許賈南氏、昭島線理成館の馬山 月飯真線に向つて選連するとに、 1000年の観光して登成を取するとなるを実施として選択なる施設を取するとになり、財威連動の陣容前に温 許賈南氏、昭島線理成館の馬山 月飯真線に向つて選連すると、 1000年の越上して発展なる施設を取するとになり、財態が自然の関係を表現を取り、 1000年の 1000年の

馬邱線建設促進

期成會から請願書を提出

大邱と提携猛運動

五年約七百萬圓程度で終了の豫定反し本線は平坦たる平野型で八十

ホル工事に一干萬國を襲したるに

中部交通関連と長続し、これが第一人日午登三年所護ご各有関語を数「該西郷三職」是主義在の状況・地中部交通関連と長続し、これが第一人日午登三年所護ご各有関語を数「該西郷三職」是主義在の状況・地

一郎を設を戦す語

勝漢、學數別類談を行ふ時半から母姉會を催し授業参加

即九時から桐井里射撃場で競戦「禿筒」警察署では去る六日年

「都、南二、江外、江内各面〈题组》」三等三人等外佳灵五人入實、寶品 日から廿二日まで清州郡美容、 「清州」忠北南生脈では来る十一 巡回診療班 講堂で聞かれたが、 審査の結果、

三華末選幼兒一等一人、二等二人一の記す二人、男四人女八人で一等

小・京田・オス・ビー薬價を加入十銭を収換を 100粒 瓶

統營署異動

景動と共に総長物長期川居氏は記。 全型に近り終了したので十三日午景動と共に総長物長期川居氏は記。 全型に近り終了したので十三日午景動と共に総長物長期川居氏は記。

後田は金海署長武子東洲男、晋州一つた 日出起の豫定である、なほ兩氏の は直繋が源に各々総額、来る十三、異委員會を開催し之等融級の結果 過考点に、同情法主任難解五天虫 | 登一等から道端値循環で道調付表 いで湯の郷温陽の

十五、六兩日盛大に舉行

選編』 若葉薫る温陽の温 時別車も連算する期間中期 汽車賃往復五割引

町保神田神京寮 部品藁スルア

頭り懸行される京南総道で泉袋は十五、十六の南日に されて居る 離り等があり角力優勝者に 鮮相撲、内鮮藝妓郷出の手 は見事な質品を贈るはずで

動脈

H

8

仁川府内の各學校

| 2 日本の経験に関うの経験を開した | 1 日本の経験に発生を定 り出すこと、なりは離れの影響に関いた。 とはある。 | 1 日本の経験に対して影楽器の影響に対している。 | 2 日本の経験に対して影楽器の影響に対している。 | 2 日本の経験に対して影楽器の影響に対している。 | 2 日本の経験に対している。 | 2 日本の経験に対している。 | 3 日本の経験に対している。 | 3 日本の経験に対している。 | 3 日本の経験に対している。 | 3 日本の経験に対している。 | 4 日本の経験に対している。 | 4 日本の経験に対している。 | 4 日本の経験に対している。 | 5 日本の経験を調ける。 | 5 日本の経験を記さる。 | 5 日本のを記さる。 | 5 日本の経験を記さる。 | 5 日本のを記さる。 | 5 日本のを記さる。 | 5 日本のを記さる。 | 5 日本の経験を記さる。 | 開始した、府では第一省手としてしてって聖技術生の真剣な破党を 一れをな優にして版本館に學校生徒

77

盟

質

.

思

屬

基礎

自慢の赤ちゃん 一等は府尹の坊ちやん

氏を創頭に推す勧託委員になるの

近は現在の動物所に吉田氏をもつ

て代田氏が韓雄になる際極談変改て来るのは同氏のほの情む、耐し

馬山の優良見審査

ネオス・11 - 薬債 ・ 類 - 圏へ子菜 ・ 類 - 圏の社 円 ・ 100粒 八 圏 ・ 100粒 八 圏 ・ 100粒 二 + 四 園 1000粒 二 + 四 園 1000粒 二 + 四 園 1000粒 11 + 四 園 10000粒 11 + 四 園 100000 11 + 四 園 100000 11 + 四 園 1000000 11 + 四 園 1000

及店類名有關全 りあに店賃買

協議されることになったが同語例

加き右二州その他の国際につき は西部すると意思を明不した。

日午後二時から臨時競技制質を

|製館観波及小供の簡は八日午後一|| 【一年未確認的観波及小供の簡は八日午後一|| 授興を行った|| 【四山】 見建設週間の像度が見一提興を行った

【一年末海】一等字幣耕兒、二 等准本期、二等資在灣、二等的局記于、二等於本 信子、四等金登、四等金融基。 四等進體芳樹、五等徐宇周、五 等徐李淑、五等等

に入選した優良倒康乳兄の者は次 【備州】愛護場間中の乳児報査會 小孫與以▲於汪▲李海龍▲耶器 尚州も發表 入質者五名

布。

最新沃度劑ネオス・エーは多 最新沃度劑ネオス・エーは多 を病治療に一日三粒、健康増 での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。 にこそ である。

第四を動動し無探丝頭と順環をす<u>増養に</u>順志田茂松爾氏である

忠北の農振評定

「西州」 紅栗、忠北道群部の春期

Acos A スオス

自動車に原因するものが大半

時間では午後四一六時が多い

高血壓と中氣、動脈硬化

地市の膨脹、交通機関の複雑化と い十六日までを**交通安全週間とてゐるが、京潔道ではけ**ふ十日 はこの事及防止に常に努力を無 交通道德を守れ! 交通事故の防止と交通道部

街上不安を生い

道を明朗にせよ! 安全週間の第一日のけふ十日を即街上不安を除け、鋪 も第二回交通祭を贈すことになり して銀行することになった たつた人々の概を用ふ 従業者や一般交通事故の犠牲と 任制十時から本社來書間で交通 交通慰靈祭 者、交通巡 良交通從業 永年勤續優

間實施日程 交通安全週

鐵道局全線に亘る昭和十年度の底

京城師昭學校では今回削立士

記念式

一州日生徳見童の作品度をも能す

一八紀五)に認為するときは証 行切手の大さ(縦二二年五、横 横七四年の輪廓内に描き之を現 を本色彩は一色とす▲縦加〇年

なる効果

佐伯警察部長談

*東京支 社移轉

東京市京橋區銀座西五丁目二番地ノ八號 京城日報東京支社 電話銀座(長) 六六〇二番

*に*か*ら*朗*を*道*鋪

ソバカスに含び取り

交通安全週間第一日

京城を練る長蛇の宣傳行進

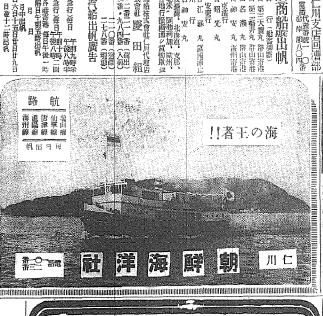
一回交通祭

轉車隊宣傳自動車、自

列車の事故 大阪商船駐出帆

東越り 十六日二六日十日 西蓮り 二六日十二日廿日

登賣三十週年記念として 御愛用者全部



子に吸著し"これを体内に排除炎性物質を、その極機細なる分 カタル・下痢を生起せしむる催たる膓内毒素の吸著解毒作用と ルシリン錠は、膓疾患の原因

錠



不良食餌中毒膓內異常醱酵 100錠入 100錠入 100錠入

店商衛兵長田武皇教 元 寶 發 內整道區東市股大 店商衛兵新四小益替 店理代來開 可水區解本日市京東

朝籍

無井で申込めば原が 中込めば原が 日本は

高級洗料用レコードに験 臺 北 大 連 奉 天 福 岡 静 岡 京 城 東 京 神 戸 名古屋 大 本 カービス・ ボッシュ・サービス・ エテーション コ 部 イリス商會東京市赤阪區溜池町一五

フラグ、マグネトー、コイル、デイ (2) 「メーター、 数料ポンプ、 7 ズル、 注油 黒" グリースポンプ、 2 ズル、 注油 黒 "グリースポンプ、 電気工具、 及 散路空気プレーキ 真他 一手吸音を排生 南店日本銀代理店イリス商會 衛三騎スル御照官ハ左配

めやけにツルチュクまった人が大喜び

急・慢性腸カタル

とせる糖衣錠なり

○成分〕銀炭末と鹽化銀硅酸を主効分−

36-383(O)

こわされ 0000

模範的頭痛樂!

携帶用として高佝優美な 流線型でいっちゃ

封入の上を鏡切手壹枚御買求めの霧大りデナル小瓶

でいるないという

直ちに右容器を無代進呈致します本 舖 安藤 井筒 堂景品 係 宛東京市日本橋區水天宮前

御注蓋 師付のこと 不足示顔は美付なせん 不足示顔は美付なせん

定 價・大瓶二圓・中瓶一圖・小瓶五千銭・特大四圓

THE STATE OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

多數技術家招き難工事を征服

(可認物便鄭所三第)

同志として大岸頓好、大陸第一、 所謂昭和維新の製ありとなせしも ざものありとし、これが臨活励新

陸軍當局

等の程識を信じ、全く我科の偏見

第5に師志の言説及び所割怪文書 なす怪文 器の取締 については世

【原京歌語】1、相郷中間の東田一一、都行の版図動機は整理の整理|目して政治的野心を包蔵し、

に似するに催れ次ぎの如きもので

但澤中佐の單獨行爲

する陰武被疑に闘する、策動、昭和九年十一月村中磯部に闘・統領運動が駆

雷道と生活。

大坪氏の講演會

の絶滅を期してゐる次第であるが

と共に、この配事性の直接版因を「ある

襲者と認むべき着はなかったので

軍規の緊脳により新くの如き行為一以てゐた向もあるが、衝理の結果 であつて、之に当し陸軍としては一つて、世人もまたこの版に疑惑を その事實は属に捕根に唯へない所

一般者があるのを影画とするのであ

版は公正なる器理の結果に管すれ を見げてある、而してこれらの話

大家大が移町氏は、佐賀散道南長一町の持永野野選矢司令官邸に滞在る

小學生盟休

縣會議長の言葉に激昂して

あす本社來青閣で

裏近の念を缺ぐのみならず、思想 た、原因は去る四月二十四日より三日間同台で現鑑された女子郡年謝戦犯論習顧の成上で野師開設た、原因は去る四月二十四日より三日間同台で現鑑された女子郡年謝戦犯論習顧の成上で野師開設を、

軍·件 議 會法

> れてゐたが、四月二十二日公判を更新し開廷、記事掲載禁止中のどころ九日午後十一時三 東京電話】相澤三郎中佐を裁く第一師團軍法會淺は去る一月十八日第一師團軍法會議公判 | これを領職し、題に同年七月上六 分左の如く陸軍省から發表された 更新審理五回に及び 二月二十五日第十回公判終了の翌日二・二六事件の勃發により中止さ 日上告の意思を表明す 几日午後十一時卅分陸軍省發表

日午後十一時半時軍省公表=相郷中在の未田中將殺害事件は、かねて第一師財軍は節鐘に於て饗源 用兵器上官暴行殺人傷害の罪

七日判决言渡

名を錦野岩質が観見、調べると京 ろからみて相宮大規模のものらし

たメンバー概を所持してゐるとこ で開買してゐたことが鴨つた、一

興路署員に見破ら

く具下取調べ中

彼しるたる近様。剛年十一月當時、れ父杰出局及の策範に基くものと「日台記歩兵第一職職附に輕補せら

推協し、總監建送の事情その他難一るくや、翌二日則記甘中孝次、震

海大将更迭の新聞記事を見るや、 日任地都山市において放行認温質

陸軍步兵大闘村中華大及び陸軍一

ン利徳を歌する恐れありと戯ら公開を停止観聊し、五月七日聊典を記世せり、なは柳茂に對し起際中丁二日以来五回に取り公禰を即延せり、師して魏頼長は駆敵は忠下弼勢と武龍統庁を無し、事軍事上T叩のところ、今次の叛乱事徴に雕轍し一郎鞭士の熊窓を繋ずるに至りたる結果起罪を抵罪し、四月二甲のところ、今次の叛乱事徴に雕轍し一郎鞭士の熊窓を繋ずるに至りたる結果起罪を抵罪し、四月二甲のところ、今次の叛乱事徴に離職を抵罪し、四月二 は五月八日間単高等電法館職に上出をなしたり

する好策に外ならずとなし、深くしば、責任を感じ酢職せられたしと

などが間族將棲などを陰密せんと、く、軍務局長は大臣の帰佐管なれ、思催し、このまく台湾に赴出する の記事などにより、右は永田高長、壁、近時随軍大臣の處置に渡りず、壁止、墓庫を変而するものなりと敬及びその強入手せる所謂怪文品。軍省集務局長事に於て領局長に而 数を通じ、昭和維新の領庫を頼料

分に助せられるに及び、同志の言ることとし、同日午後三時過頃壁。元老、重色、

宮城縣仙台市東六番町一番地 十族 台灣步兵第一聯隊(原所腦) 從五位勳四等 课備投陸軍步兵中佐

明值二十二年九月九日生 AMAGINA AMAGINA AMAGINA

4の前に患する用兵器上直径行政人協常被告事件に當軍法療証機器は島田朋三郎干奥諾班を選げ物決

被告人を死刑に處す、押收に 力

る軍刀

逐次陸軍中央効年型校院軍士官型。れ、ついで配年十月十一日集備役。 厨局長をもつてその駅卸上の地位が負債日産軍地方効年型校に入校し ずして厨月二十三日符命仰付けら 航任後、期間制造の言説等により 要言)を告人は明治三十六年九 に捕せられ、末た赴せするに至ら 軍少財水田籐山の陽草省軍効局及 口はこれを没収す 歩兵第四十一聯隊附に、越えて同 を職行せざるべからずと思惟する 十年八月一日台灣歩兵第一職條別 に至りたるが、同九年三月當時陸

β盥単歩兵が尉に任ぜられ、閻米│皇の念摩きものありしところ、 即位けられたらが、かねてより線 を利用し、名を軍の総職に籍り、昭東の念願きものありしところ、昭 対維帯の連軸を駆ぶするものと見れ四、五年城より裴が國内外の僧

己の企圖するが如き荷勢に變化な せた大酸型一と麒麟したる末、自 化に一艘の撃みを難し、間後則記(有の第刀を投き向宅中央の事跡用)刀を加へ脚に順部に斬りつけた。なは永田胤長の逆逃など消骸の壁)に到り、直ちに輩びゐたる自己所(避けたる際、郿局長の背部に第 間人および居合

| 設置の決意を励め翌十二日朝西田 で遊げたるを追摘し、その背部を | 背部に長され、五コンテ、院さー きことを知り、窓に愈よ水田局長、次いで問局長の隣常に通ずる原書|原部に到りつけ、因つて耐局長の 軍刀にて突刺し 脱血で死亡せしむ

| 軍者に到り副省整體局最軽に立等 | 用聞我の側に到り覆れるや、その「ニュンチ」左離類部に長さ一四、九時選びに出たすと运見になった|| 方を立田で、配自九時三十分印壁 | 軍部にて要制し襲に団局長が翻接|| センチおよび長さ六センチ、深さ | 九日田舎から永城したが九日午後 迷ひ子

五中賦数さんの甥李相王若(サ)は

ではそのないに萬全を期してゐる。預金の時数はその預金契約が解放 流行性脳脊髄膜炎が健生して當局。め大部院に上街した路、 京城新草町に少し前突然形るべき。てゐるとて脱岩の敗訴となつ

された時から計算さるべきもので **拉斯院民事五郎下飯坂級利長係**

研究の治療的は が配す主領と 大陸を主領と 大陸を主領と 大陸を主領と 畫 ■ おれ売らかく効く効らかい食

· 元山平均五 施密縣 別八円 特四円 ド⊕有 念恩 語成 形 科

姓名 本社厂川支配

作。本 自由在市外 例針一手版資 京城地町三丁目和 湯町(第本二十九七番) 吉田松北紫代理店 山本浦心堂

上價還勸業價券支排開始廣告

追而本債券ニ付ラハ繰上償還期日以後ハ利子ハ御支拂不致候 郵便局ニ於テ至急元利割增金御受領被下度候にり全額支拂開始可致候ニ付當行本支店各地代 |同勸業債券へ本月一日繰上償還抽籤ヲアシ來ル

三等割増金附當籤番號へ左記ノ通リニ候

掃御請求被下度候 開御請求被下度候

本質に於てもまた手間き上に於て 反し取行せられたるものにして、 長等の策動により同大將の意志に 臨眞縣大將の更迭を以つて永田局 品間の大道不遇と難する所謂怪文 佐がこれを関止せんとし、被告人 るを認識せずに同大佐の左上韓部一ある右用兵器、上官器行殺器及びよつて主文の如く物決す

|第一万を加へたる際、前示新見大||法第六十二條第二項に、同人を設 口は 本性犯行 に供 したるものに を斬ると同時に新見大位が上官だ。法第二百四條に各該當するもので、べきものとす 右第一刀を以つて永田局長の背部一て間人の身體を誘惑したる點は同二一號、第二項によりこれを没板す の腰部に抱き付かんとしたる際、一新見大佐の上宮たるを認識せずしるをもつて同法第十九條第一項的 たほ順配の如く水田局長の背部に一器を引る差行を興へたるは陸軍形。虚骸すべく、押収にかくる第刀一

の戦ぶ行民中、永田少將に對し兵ひ、その所定形中光形を監察して したる難は飛法宛百九十九條に、 して、被告人以外のものに顕せざ する創館を資はしめたるものなり、第五十四條第一項削段、第十條に 五センチ幅約四センチ深さ僧に遂 罪名に帰るるもなるをもつて同法

!て分三タッタ

のきせぬ海の眺め 五階の展望台 高病を治す ラデウム温泉 ラデウム温泉 (容室四十二室一泊貳食室料共 自貳圓五十銭至八圓也) 温泉大フール、ベス及へイナま堂

花柳病專門

2)

蒜 京日案内

社會式株スーソンキチ 京東

齒

本町四丁自四八(御名里者は左記へ御 科

「大きない」 (1) 本権 はな、子形、深貫、 有機関係は金融側和形に置す 京城前芽草町一〇六(銀野頭り)

島、 病

貞 信院

恩

金 華工業 師 本租 國物 選 體 型 製 部 計 應 工 本 事 前 国

四部所。昭、昭、昭、南、岡、岡、岡、岡、岡、岡、岡、岡、岡、岡、町八〇寺田・市話記山(4)三京京城府岡南大門前日郡といっ京話本局(2)三笠京城府南大門前日郡といっ京話本局(2)三笠

平 京 城

るに至り、配月十日確由市を出露して永田周長の在領を纏めたる上 | 同九時四十五分時間省軍務局長報 | 長かこれに知づき新見大佐の頃に

あるのみとし、遂に「時面校生徒隊長たりし信局長山間 |陸軍憲兵大位新見英夫と相関し居

かつて自己が士官学校在『曹一祖を属て、來あ中の果豆殿兵隊長 定任を前に上京す

> あ間した六名の霊殿は、九日朝 閣で『書道と生語』の響下に数道 により歴开步兵第七十七騎隊長、日(月)午後七年中から本地平一事選定語)既第、臨時府灣の決一中だが、今回本社の譜を容れ十

日(月)午後七時年から本地来問

平壤歐打事件解決

指記さ除する等その人格を類に預するを憤慨し労めて共の決策
観化の徒が否を以て小技未

档葉氏が斡旋して

時から鹿に聞かれた府資施建

器例をすること」なった、入場無

照姫さん(ご)は長男承世若(デ)を

京城文化村一七川資烈氏の寒女林

妻女の家出

丁供をつれて

日本の書聖中林衙竹先生に郿爭り書に志し早大に県びし後は後、捜査中が群氏は鵬削小城藩士、幼少よ「時家を当

中將に面轉。雖惡中

一般のたる上一書のま、欧郷上たるところ、耐局総仕を遺は一たる永田局長の左側期部に急遽無 からいろノンが見も出たが、當のてはどうかと提高、二、三の撮政 い、といふとなので、稻葉副議長してゐず、曲直が明かになればよ

新堂町に又も

政然として第一銀行期訴となった

錦畵伯が個展 けふから三越で

白型問員として樹西洋海界の重観

北城國第町九六の二洪領的万生徒。で同断伯の京城後接曾が組織され

即方当古(こが三日成病し九日午

大先、この財災陣を突破して赤も

選及基語(ア)を午後二時頃遊び

控訴院の判决

三八八字頭版氏が第一銀行を担 に出たま」迷鬼東大門署で捏造中 長男派基百つかる午後二時頃遊

けふの天気

四、第五十五回ノ四回別ニ族近ノ縣上債遺外祭・右ノ外第四十一回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二年五月

序盤の苦心!

二流争弱血

台灣だより 番川のタ

霧社の今昔

察心は盛中州能高郡にあつて標高 二〇米の高地、三千米以上

はや日暮しの

金

易二郎

御會合の席上に御客機の接待に

◆廣告に就てのお話を致 前十一時十分 要供給の中にあつて双方に要供給の中にありますが、此の需

京城)

る許録と云ふ愛爾以上の心持を弥

十日の番組

放送 H

・ 様くのんびり 同八時三〇分

W曲は収極(栗)と大量を配って

前人未踏の湖に

(五) 自己の信念と複資 圏の活動状況 圏の活動状況

いと思つて離子は陸橋の方へ向

大なみ小なみに伝せて 獨本州を学べて

(ロ) 収穫の架み

間はぎらくし

滑つて來るのが見えた。 雕子は

打揃って収配に

換する味を狙つて敵の情勢を超松下君の四八銀は飛先きの歩を

ーンン活用の時

どなた を呈し を有し

腸の機 逞まし を増進 り機刺



放す、個人は自分達の相手ではな 九州郵船株式會社

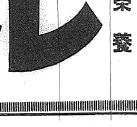
尿の出る時痛む

株式電社 木 飲めば樂になる 柑 槧 房

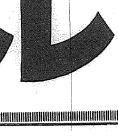
公告 一面會

法人登記公告の金融を受しております。

農金化出張所







れた含ま

カルシ し、ヴィ



